



# 飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. 141

The Iida City Institute of Historical Research

2026年4月1日発行

飯田市歴史研究所

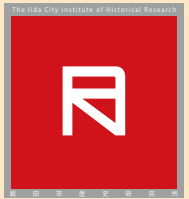
〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail: iihr@city.iida.nagano.jp



新刊案内

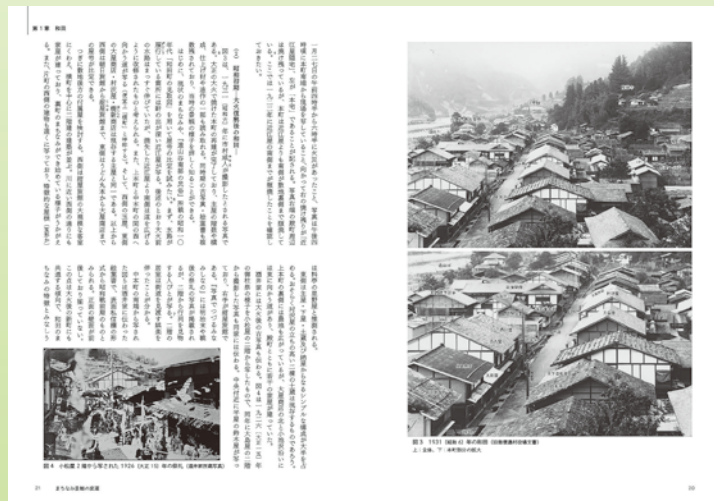
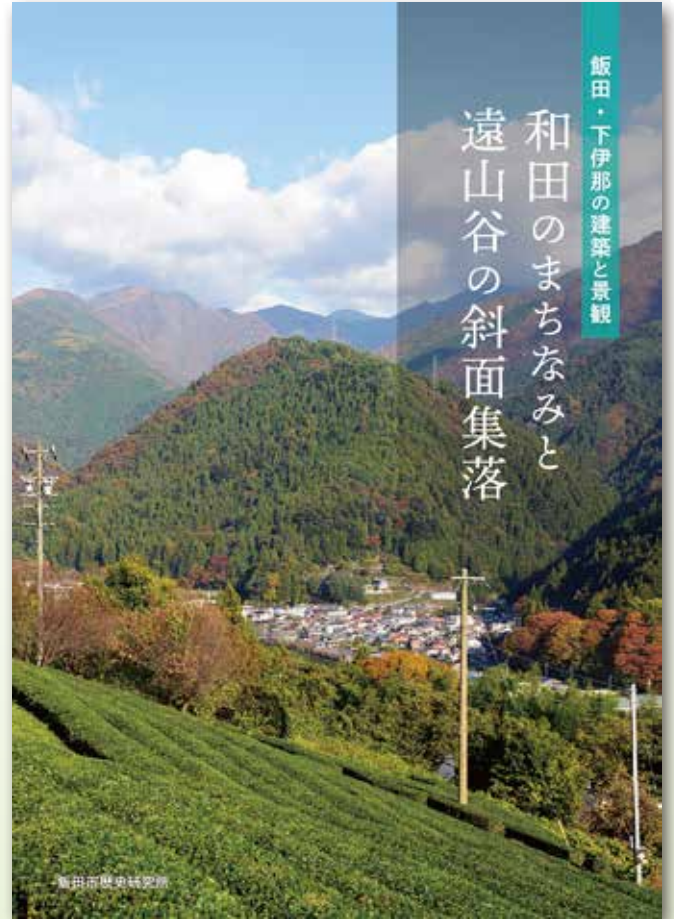
## 飯田・下伊那の建築と景観 和田のまちなみと 遠山谷の斜面集落

2026年3月13日刊行  
飯田市歴史研究所編  
B5判 132頁  
定価 1,900円 (税別)

- ・平安堂 飯田店
- ・飯田市美術博物館
- ・飯田市考古博物館
- ・飯田市歴史研究所  
などで購入できます

遠山谷（飯田市上村・南信濃）は、中央構造線がつくりあげた深い谷筋のなかに広がる地域です。そこでは険しい地形のもと、豊かな森林資源を背景に山里特有の暮らしや住環境が築きあげられています。その価値ある姿を記録して後世に伝えるため、歴史研究所では、長年、遠山谷における建築や景観の調査に取り組んできました。特に2020年度からは、文部科学省の科学研究費助成事業に基づく研究プロジェクトとの協働で、建物、まちなみ、旧道の調査を集中的に実施しています。このたび、その調査成果をまとめた報告書を刊行します。

本書では、江戸時代以前からの宿場である「和田」と、傾斜地に形成される「八重河内」「山原」「下栗」の集落を取りあげます。町屋がならぶ街道沿いのまちなみや、起伏に富んだ土地をうまく住みこなして作られる住居・集落の姿を、地域内の建物の調査と、文書・地図・写真等の史料調査から明らかにしていきます。遠山谷では、自然との対話の積み重ねのなかで、個性豊かな景観が生み出されています。その魅力を、本書を通して感じ取っていただければ幸いです。



### 目次 山里の魅力／総説

#### 第1章 和田

- I 遠山谷における平地集落の形成
- II 街区とみちの成立過程
- III まちなみ景観の変遷
- IV 和田の町屋と都市建築

#### 第2章 八重河内と山原

- I 遠山谷における集落の分布
- II 斜面集落における道のなりたち
- III 八重河内と山原の民家

#### 第3章 下栗とその周辺

- I 斜面集落の暮らしとすまい
- II 下栗周辺の民家

# 市民研究員候補 歴史研究活動助成 飯田歴研賞2026候補作品を募集します

歴史研究所では、飯田下伊那を対象とした地域史研究のさらなる発展を目指して、研究者の養成、研究活動への助成、優れた研究成果の表彰を行っています。2026年度も市民研究員候補、歴史研究活動助成、歴研賞候補作品を募集しますので、奮ってご応募ください。

(各募集の要項や申込書等は歴史研究所のホームページよりダウンロードできます。)

## 市民研究員候補

市民研究員候補として、市民研究員養成課程の2年間で、飯田下伊那の地域史にかかわるテーマの研究に取り組んでいただきます。研究員の指導のもと、各種の教育プログラムを通して、歴史研究の基礎を学びながら、修了論文の作成を目指します。課程修了後は市民研究員となり、歴史研究所の調査研究活動にご参加いただけます。

- ★募集人数 若干名
- ★応募方法 要項をご確認のうえ、申込書を歴史研究所へ提出してください
- ★募集期間 5月1日(金)～7月31日(金)必着
- ★審査結果 書類審査と面接を行い、8月末までに採否をお知らせします

## 研究活動助成

飯田下伊那を対象とした歴史研究活動に経費の助成を行います。

- ★応募資格 ①飯田市内や下伊那郡内に住所を有する団体  
②卒業論文を作成する大学生、または修士論文を作成する大学院生
- ★研究期間 2027年2月まで。大学院生は2028年2月までも可
- ★助成金額 経費(上限10万円)の半額。大学院生が2年間助成をうける場合は、2年間の経費(上限15万円)の半額
- ★募集期間 5月1日(金)～7月31日(金)必着
- ★審査結果 書類審査などを行い、8末日までに本事業に適した研究か決定します
- ★助成金の交付 研究期間の終了後、実績報告書や成果報告などに基づき、本事業の目的や助成条件に適した研究か審査して、助成金の交付を決定します

## 飯田歴研賞2026候補作品

前年度に発表された飯田下伊那の地域史研究に関する優れた作品に歴研賞(著作賞、論文賞)や奨励賞をお贈りしています。その候補作品を募集します。自薦・他薦は問いません。

- ★対象作品 2025年4月～2026年3月に刊行・発表された著書・論文(自費出版を含む)
- ★募集期間 5月1日(金)～6月30日(火) 作品を持参または郵送してください

## 遠山から樺太へ —ある一個人の歩み—

太田仙一(北星学園大学/歴史研究所調査研究員)



三條神社 寄付芳名額(飯田市美術博物館が調査・撮影)

飯田市美術博物館が撮影したこの写真は飯田市南信濃・梶谷の三條神社に残る寄付芳名額です。大正時代に作成されたと考えられるこの額には、80人程度の寄付者の氏名・寄付額が記入されています。寄付者の中心は当時この遠山地域

に原木確保のため進出していた王子製紙の山林労働者です。額の筆頭に名前が記されている、「王子製紙株式会社梶谷伐木所主任 長野県西筑摩郡駒ヶ根村 竹原政太郎」という人物に着目します。

明治32年に駒ヶ根尋常高等小学校尋常科を卒業した竹原は、王子製紙の史料によると明治43年度に王子製紙の「分社雇」という身分で採用されています。そして、大正5年には王子製紙が樺太に展開していた「大泊分社詰」(大泊はサハリンの港湾都市コルサコフ)を命じられて遠山を去りました。芳名額は、樺太に移るまでの6年程の間に作成されたのでしょうか。王子製紙は大正時代の中頃には遠山の山林事業から撤退して北海道・樺太に山林事業を展開します。遠山から樺太へという竹原の歩みは、日本製紙業の展開と重なっています。

樺太に渡った後の竹原の歩みを紹介します。竹原は王子製紙の事業の中心となった樺太に長く勤め、昭和10年頃には樺太分社の総務係長をつとめています。最終的には日本がアジア・太平洋戦争に突入する昭和16年に、東京の王子製紙山林部第一課に異動し樺太を離れています。

竹原に限らず、この額に名前が載る1人1人の人生は、王子製紙の遠山事業終了後も続いています。歴史研究所や美術博物館が取り組む地域史料の調査研究は、かけがえのない個々の人生を記録し伝えていくことでもあるでしょう。こうした営みが今後も飯田市で大切にされていくことを願っています。

美術博物館との共催で  
**ゼロから始める  
古文書(初級)**  
を開催します

令和8年度の古文書講座の受講生を募集します。

会場：**飯田市美術博物館**

日時：**令和8年5月～11月**(10:00～11:30)

I班：毎月第2水曜日

II班：毎月第3土曜日

※I、II班の内容は同じです

講師：歴史研究所、美術博物館職員

定員：I・II班 各30名

受講料：**100円**(1回ごと徴収します)

募集期間：**3月19日(木)～4月29日(水・祝)**



■お申込み・お問い合わせ■

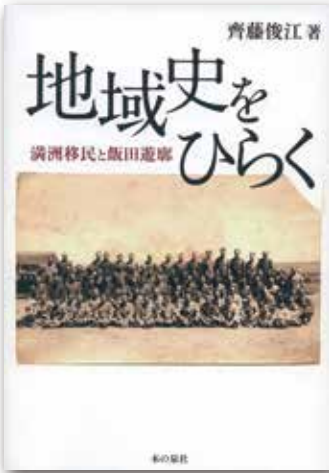
**飯田市美術博物館**

**TEL 22-8118** まで

# 開催告知

## ●ワークショップ● 齊藤俊江著

### 『地域史をひらく 満洲移民と飯田遊廓』を読む



● 開催日 2026年6月6日(土) 13:30~17:00

● 会場 飯田市役所C棟3階会議室(オンライン受講併用)

昨年10月に齊藤俊江さんの新著『地域史をひらく 満洲移民と飯田遊廓』が刊行されました。本書は、飯田下伊那の満洲移民や二本松遊廓などに関するこれまでの研究をまとめたものです。齊藤さんの研究は、一貫して渡満者や女性(娼妓)といった社会の中で弱い立場に置かれた人びとに寄り添って、地域の歴史を描き出そうとしたところに特徴があります。今回の書評ワークショップでは、満洲移民研究・女性史研究・地域史研究などの側面から本書を取り上げ、その成果と課題を考えます。

【報告】大串 潤児さん(国立歴史民俗博物館、歴史研究所顧問研究員)

加藤みゆきさん(飯田女性史研究会)

小林 信介さん(金沢大学)

松葉 孝子さん(満洲移民を考える会)

#### お申込み

■Webフォーム・メール・電話・FAXでお申し込みください。

■メール・電話・FAXの場合は、①~④についてお知らせください。

①受講方法(会場・オンライン) ②氏名(ふりがな) ③電話番号

④オンライン受講者は、メールアドレス・郵便番号・住所

※申込締切:2026年6月2日(火)

※Webフォームでのお申し込みは5月からを予定しています。詳しくは飯田市歴史研究所ホームページをご覧ください。

## 定例研究会 「長野県の建築業界における久保田正吉の設計活動」

◎開催日 4月11日(土)

報告者 岩田 会津(歴史研究所研究員)

◎時間 14:00~16:00

会場 歴史研究所 研修室

受講生  
募集中!!

## 歴研ゼミ&ワークショップ 4月・5月の予定

会場:歴史研究所 研修室

### 近世史ゼミ

「飯田御用覚書」を読む

4月8日・22日 / 5月13日・27日

第2・4水曜日 18:30~20:30

担当:羽田 真也(研究員)

### 建築史ゼミ

身近な空間の歴史を  
調べてみる

4月17日 / 5月15日

第3金曜日 18:30~20:30

担当:岩田 会津(研究員)

### 地域史ゼミ

大正期 LYL 事件の刑事記を読む

4月9日 / 5月14日

第2木曜日 13:30~15:30

担当:伊藤 悠(研究員)

### 思想史ワークショップ

胡桃澤盛日記を読む

4月1日・15日 / 5月20日

第1・第3水曜日 16:00~18:00

市民の皆さんが自主的に学び合う場

### 満洲移民研究ゼミ

文書・記憶・個人の記録から考える

第171回4月4日 / 第172回5月2日

(6月のゼミはワークショップ参加とします)

第1土曜日 10:00~11:40

担当:本島 和人(調査研究員)

### 近現代史ゼミ

昭和12年胡桃澤盛日記を読む

4月休講 / 5月23日

第4土曜日 10:00~11:40

担当:田中 雅孝(調査研究員)

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL:0265-53-4670

開所時間:午前9時~午後5時 休所日:日曜日・月曜日・祝日・12月29日~1月3日

メール配信をご希望の方は、E-mail:iihr@city.iida.nagano.jpまで